



文部科学省 情報ひろばサイエンスカフェ

～サイエンスアゴラ 2017 連携企画（テーマ“越境する”）～

主催 文部科学省
共催  国立研究開発法人
科学技術振興機構

日時 平成 29 年 7 月 28 日（金）19:00～20:30

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の方々が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について自由に語り合うコミュニケーションの場です。

テーマ：
地域防災×ICT
スマートフォンアプリの
活用を通じて

参加無料

定員 30 名
(事前申込み制)

会場 文部科学省情報ひろばラウンジ
東京都千代田区霞が関 3-2-2

【アクセス】銀座線「虎ノ門駅」11 番出口直結、千代田線「霞ヶ関駅」A13 番出口 徒歩 5 分

大阪市立大学都市防災教育研究センター（CERD）では、子どもたちが能動的に考え・行動する仕掛けを取り入れた「アクティブラーニング災害訓練」を実施しています。この訓練は、子どもたちにとってはシナリオがなく、訓練の中で突然発生する課題への対応や、体験学習を通じて訓練を進めていきます。この訓練を進めるにあたり、リアルタイムに災害状況を変化させる仕掛けや、子どもたちに地域の防災関連施設を知ってもらう目的で拡張現実（AR）アプリを開発しました。訓練内容やアプリのデータは、地域の様々なコミュニティと協働し、一緒に創りあげる必要があります。そのことにより地域のつながりを強化し、地域全体の防災・減災力を高める効果があると考えております。今回のサイエンスカフェでは、当センターがこれまでに実施してきた活動や、アプリの活用を通じた取り組みについてご紹介します。

- 講師：吉田大介（大阪市立大学都市防災教育研究センター・兼任研究員/大学院創造都市研究科・准教授）
オープンソースソフトウェアと低コスト GNSS 受信機を用いた高精度な衛星測位技術に関する研究に従事し、位置情報の応用研究として ICT を活用した防災・減災に関する教育研究を進めています。
- ファシリテーター：生田英輔（大阪市立大学都市防災教育研究センター・兼任研究員/大学院生活科学研究科講師）

申込み方法 氏名と「7月28日サイエンスカフェ参加希望」の旨御記入の上、下記メールアドレスまでお申込みください。→ sciencecafe@devotion-japan.com

【サイエンスカフェ予習編】

地域防災×ICTってなんだろう？ ～情報通信技術で地域の防災・減災力を高める～

7月の情報ひろばサイエンスカフェは、大阪市立大学の吉田先生をお迎えします。皆さんと対話を行う前に、講師・ファシリテーターの先生方がどんな方か、ちょっとだけ予習してみましょう。

講師の吉田先生ってこんな人！

大阪市立大学にて社会人向けの授業をおこなっています。オープンデータやソーシャルメディアなどの ICT を活用して、防災を含む地域の課題解決についての内容を授業で紹介しています。

研究の対象として、GNSS(GPS)を利用した測位技術についての研究をおこなっています。正確な位置情報は、スマートフォンのアプリでの活用や、今回のサイエンスカフェでご紹介する拡張現実 (AR) 技術においても重要な役割を果たします。位置・空間情報は、人々の生活の様々な場面で活用されているため、防災分野だけでなく、多様な分野・対象に応用できる点に魅力を感じています。



ファシリテーターの生田先生ってこんな人！



専門は生活科学で「災害時の人の被害をいかに減らすか」というテーマで研究しています。建物や家具による死傷の研究、避難や災害に強いまちづくりなどを研究しています。この分野に興味を持ったのは地元兵庫県を襲った阪神・淡路大震災がきっかけでした。

少子高齢化が進むわが国では防災を含むあらゆる地域活動に効率化が求められています。一方、教育の現場でも ICT や AI の活用が始まり、子どもたちには身近なものになりつつあります。次世代の地域防災における ICT の利活用方法を皆さんと一緒に考えたいと思います。

今回のサイエンスカフェのイチオシポイント！

- ・最先端技術を活用して防災・減災活動を進めている研究者とお話できます
- ・iPad & iPhone を使って実際にアプリを体感してみよう

今回のサイエンスカフェで考えてみたいこと…

- ・地域の防災について様々な方と様々な視点から考えよう
- ・研究に携わっていない人から見ると、この研究はどのような感じ？
- ・普段、活動の中心になっている関西圏と、関東圏について違いはあるのかな

今回の難易度 … ★★★

(防災とか ICT 最近興味あるんだー、話をしてみたい！ 人向け)



サイエンスカフェでは、最新の科学技術を研究者の方から紹介するだけでなく、参加者の皆さんとの対話を通じて社会とともにある科学技術について考える場としたいと思っています。

なお、平成 29 年度サイエンスカフェは JST のサイエンスアゴラ 2017 の連携企画として、同イベントテーマである“越境する”を掲げ、 (専門や重視する軸) × (別の領域、越境先) という切り口でお届けします。皆さんのご参加をお待ちしております。

<サイエンスアゴラに関する詳細はこちら> <http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>